

令和元年度

年 報

令和2年3月

富山県自然博物館ねいの里

目 次

I 施設の概要

1	沿革	2
2	設置目的と役割	2
3	施設の概要	3
4	施設の変遷	4
5	指定管理者制度の導入	6

II 利用状況

1	来館者数	7
2	団体来館者数	7
3	開催行事	7
4	ナチュラリスト活動	8
5	各種普及活動	8
6	実習生の受け入れ	9
7	鳥獣保護センターにおける傷病鳥獣の受け入れ	10
8	自然に関する相談件数	10

III 県からの委託業務

1	野生鳥獣対策業務	10
2	富山県ニホンザル管理計画におけるモニタリング調査業務	11
3	生物多様性保全推進アドバイザー事業	11
4	自然博物館「いこいの村富山移管施設」維持管理整備事業	11
5	富山県指定管理鳥獣捕獲等業務	11

IV 自然塾の会の活動

1	組織	12
2	活動内容	12

V 広報活動

1	ホームページの刷新	12
2	テレビ、ラジオへの協力・出演	12

I. 施設の概要

1 沿革

昭和46年	5月	県民公園構想発表
昭和49年	6月	自然博物館基礎調査
昭和54年	8月	自然博物館基本設計
昭和55年	7月	自然博物館整備工事施工
昭和56年	6月2日	自然博物館 開園
昭和59年	10月	富山県鳥獣保護センター併設
昭和63年	10月	展示館の展示替えオープン
平成元年	10月	キジ野生化訓練場新設
平成10年	8月	イヌワシモニタリングシステム(南砺市小瀬)稼働
平成18年	4月	指定管理者制度導入
平成19年	3月	展示館の展示替えオープン(人と生き物との共生)
平成21年	4月	いこいの村移管施設(4.2ha)管理受託
平成27年	7月	入館者100万人達成
平成28年	4月	指定管理鳥獣(イノシシ、ニホンジカ)捕獲等事業本格実施

2 設置目的と役割

(1) 目的

人間が自然といかに付き合っていくたらよいかと言う大きな問題に対するアプローチとして「身近な自然の再発見」をテーマに、県民の誰でもが自然に親しみ、学べる場を設け、展示や野外の自然解説を通して、自然への興味、関心を高め、自然を愛し守り育てることを目的としている。

【基本となるテーマと理念】

- ① 自然に親しむ
- ② 自然に学ぶ
- ③ 自然を育てる

(2) 役割

上記のテーマと理念の実現を図るために環境教育を実施する役割を持っている。なお、環境教育の目標は次の5つを考えている。

- ① 自然に興味を持つ人を育てる。(自然への親しみ、自然への興味を養う)
- ② 自然を理解できる人を育てる。(自然の仕組みを学び科学的に見る目を養う)
- ③ 自然を愛する人を育てる。(自然や環境に対する感受性と愛情を養う)
- ④ 自然を守る人を育てる。(自然の中のマナーと環境に対する論理を養う)
- ⑤ 指導者を育てる。(自然解説・環境教育の理念と技術を養う)

この教育目標を達成させるための活動の理念としては、実物を通じた体験・生態的なものの見方・環境の多面的な見方・自然と人間の生活との関連についての見方等である。

さらに、近年来園者が急増している保育園、幼稚園児や、ジュニアナチュラリスト支援のための館の役割として、普段あまり観察することのない身近な小動物の観察や自然の中での遊びを通して、上記の目標を達成できると考えている。

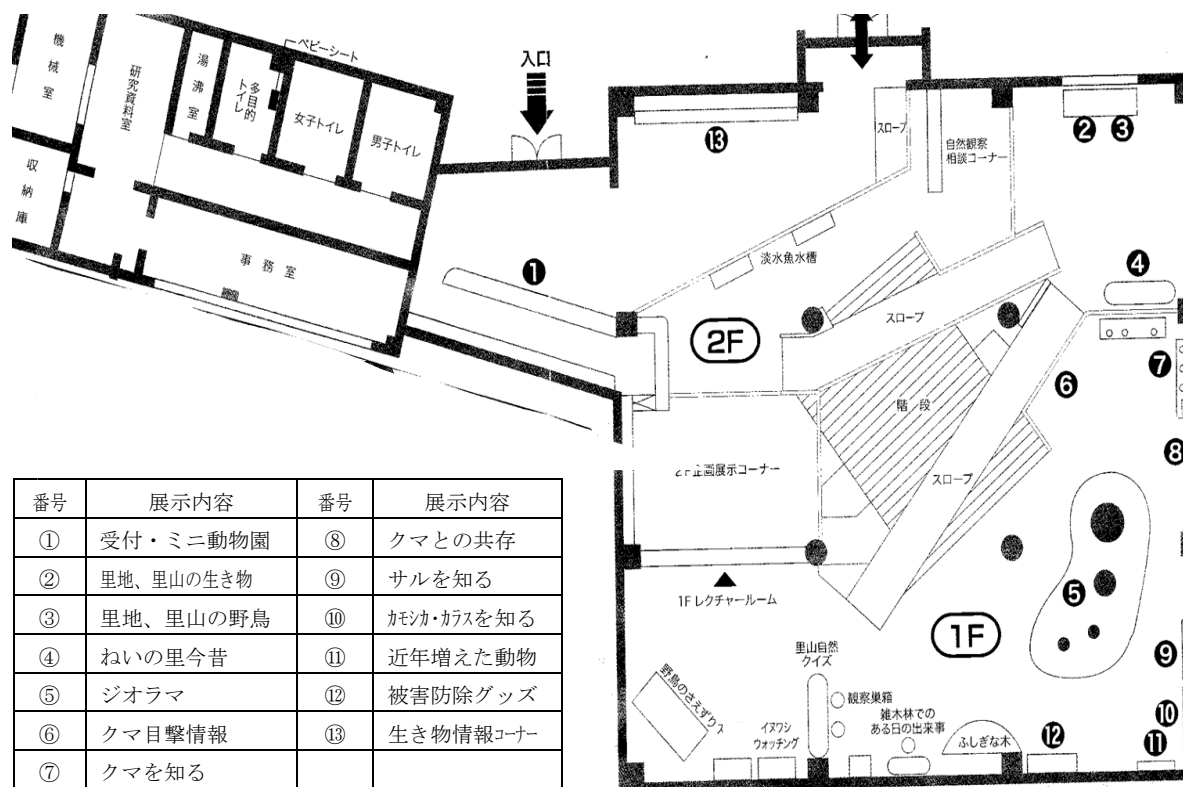
また、近年、希少野生動植物の絶滅の危惧、生物多様性保全の重要性、ツキノワグマやイノシシを始めとする人との軋轢が増加してきている野生動物との関係など、野生生物に関する新たな課題が発生してきている。これらの諸問題に対応するため、県の委託を受け各種調査や対策を実施している。

特に、平成28年度からは指定管理鳥獣（イノシシ、シカ）に関する調査や捕獲、狩猟者の育成などを目的とした、指定管理鳥獣捕獲等事業を受託している。

3 施設の概要

1) 自然博物館センター

- (1) 建物の構造 鉄筋コンクリート造2階建て
- (2) 建物面積 延床面積726.54㎡
- (3) 施設内容
1階 展示室、レクチャールーム
2階 展示室、事務室、トイレ、研究資料室
- (4) 関連施設 野外倉庫 プレハブ平屋建て 延床面積9.93㎡
駐車場3台、鳥獣野化訓練場



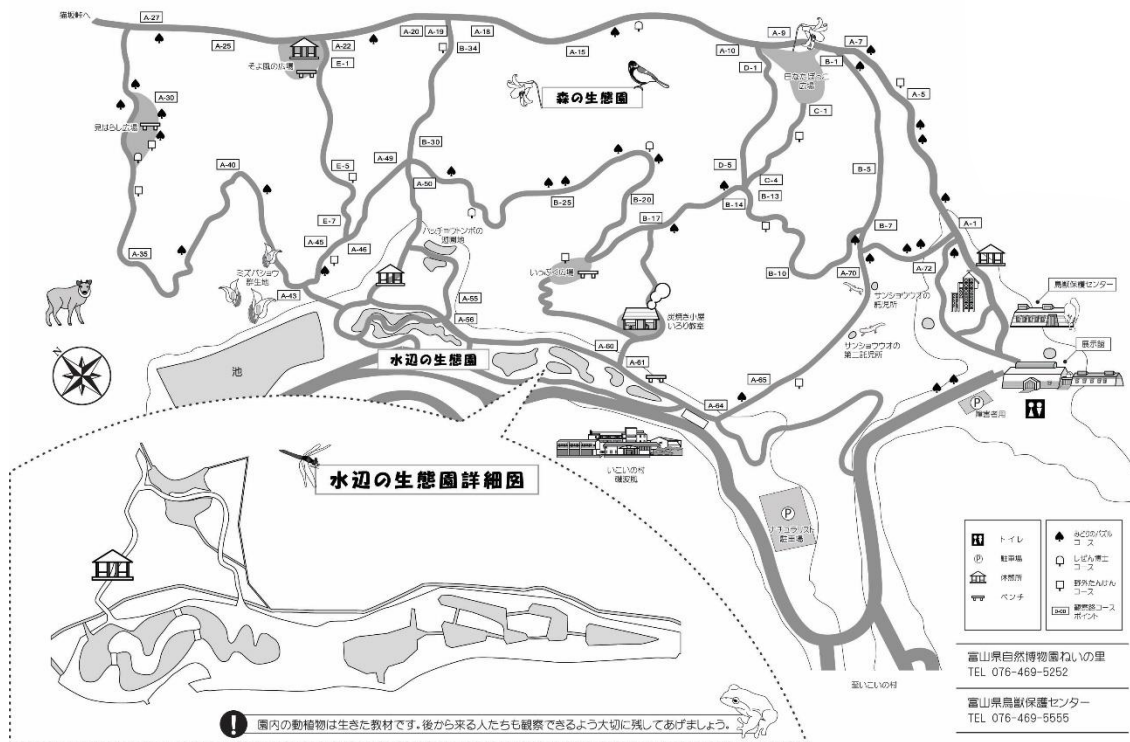
番号	展示内容	番号	展示内容
①	受付・ミニ動物園	⑧	クマとの共存
②	里地、里山の生き物	⑨	サルを知る
③	里地、里山の野鳥	⑩	カモシカ・カラスを知る
④	ねいの里今昔	⑪	近年増えた動物
⑤	ジオラマ	⑫	被害防除グッズ
⑥	クマ目撃情報	⑬	生き物情報コーナー
⑦	クマを知る		

2) 鳥獣保護センター

- (1) 建物の構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄筋金網造 1階建て
- (2) 建物面積 112.52㎡
- (3) 施設内容 救護室、飼育室8室
- (4) 関連施設 焼却施設 金属造

3) フィールド

- (1) 森の生態園 約138,000㎡
- (2) 水辺の生態園 約8,500㎡
- (3) 園路 1周約2km 自然観察路として整備
- (4) 工作物
 バッドハウス 1式 木造
 森の生態園休憩舎 2棟 木造
 水辺の生態園休憩舎 1棟 木造



4 施設の変遷

1) 野外学習施設

(1) 生態園の設置

ホクリクサンショウウオ、モリアオガエル、ハッチョウトンボ、メダカ、テツギョ等の小動物を保護し野外観察の拠点とした生態園（森の生態園）の整備を昭和61年4月から実施し、昭和63年度に標識を立て野外活動に利用している。また、昭和63年度には捨土場所を植物遷移の観察用生態園として設定している。（現在は「かたかごの丘」として整備）

また、平成15年度からいこいの村富山の水生庭苑整備を受託し、水辺の生態園とし

て希少動植物の保全を図るため、整備・管理を行っている。(平成 22 年度からは県有地となったため、県から受託)

一方、炭焼き窯の跡が発見されたことから、かつての里山の暮らしを再現するために炭焼き窯の復元を行い、「吉住窯」と名付け、これまで 21 回の炭焼きを行った。

しかしながら、窯の老朽化により大規模な補修が余儀なくされるようになったことから、一昨年から簡易的に炭焼きができる、ドラム缶炭焼き窯を購入し、行事等の際に体験型炭焼きや、炭を使ったイベントなどを行っている。

(2) 野外学習コース

開園時に設定した、しぜん博士コース・野外探検コース・緑のパズルコース等の野外学習コースを平成元年度から平成 3 年度にかけて更新した。なお、更新に当たっては、問題および設置場所の一部を変更した。

また、平成 24 年度には、しぜん博士コースと野外探検コースを統合し、新たに「しぜん探検コース」を設置した。

昨年度からは新たに、クイズ形式のオリエンテーリングである「ねいの里の宝探し」を設置し、フィールドの魅力アップに努めている。

(3) 遊具広場の設置

利用者層の変化に対応し、園地周辺の森の中で家族連れが楽しめるよう、手作り遊具のある広場を 2 か所、林内を木道で散策できる細道を 1 か所設置している。

- ハンモック広場 (平成 26 年度設置)
ハンモック、ブランコ、クライミングネット、砂場など
- 木馬の広場 (平成 27 年度設置)
木馬、シーソー、ブランコ、滑り台、ロープ渡り等
- 森の細道 (平成 29 年度設置)
木道設置によるバランス遊具

2) 第 1 回展示館の展示更新 (昭和 63 年 10 月展示替え)

(1) 展示の主な特徴

- イ. 実物を通し体験できる展示及び機器の導入。
- ロ. 季節的に入れ替えができる展示。
- ハ. 展示の対象地域を「ねいの里」フィールドから県内一円に拡大する。

(2) 展示替えにより新設した内容

全方位観察ボックス・立体投影器・私たちの仲間・フィールド玉手箱・海辺の鳥たち・サンショウウオの水槽・2 万年前の「ねいの里」(石器)・カモシカの剥製・富山の四季の生き物・クローズアップ

3) 第 2 回展示館の展示更新 (平成 19 年 3 月展示替え)

「人と自然との共生」を目指し、クマやサルなど、人との間で軋轢のある動物などはく製や生態についてのパネル展示、被害防除法などを新設した。

また、里山やそこに生息する生き物の紹介、渡り鳥の生態、昆虫標本や鳥のはく製などを一部更新した。

4) キジ野化訓練場の整備 (平成元年10月完成)

最近、堤防の草刈がさかんになったことや麦畑が増えたことから、キジの卵が多く持ち込まれ、沢山の雛がかえり鳥獣保護センターの野化訓練室では収容しきれなくなったので野化訓練場を新設した。この野化訓練場は、雑木林を生かし自然に近い環境になっている。

また、キジのみならず、タヌキなどの哺乳類の野化訓練にも使用できるよう改良してきている。

5) その他施設の更新(随時)

施設の老朽化や利用者ニーズの変化に伴う施設の更新を随時実施している。

主な更新施設は次のとおり。

- ・男女トイレの洋式化
- ・クイズコーナーの新設
- ・レクチャールームの冷暖房化
- ・大型モニターやスクリーンを使用した動植物やねいの里の活動の紹介

5 指定管理者制度の導入

平成15年6月に地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)が成立し、「指定管理者制度」が創設された。

この制度は、多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するために公の施設の管理に民間事業者等のノウハウ等を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的としている。

この制度により、これまで出資法人等に限られていた公の施設の管理を株式会社等の民間事業者やNPO団体等も行うことができるようになった。

富山県では、原則として公募により期間を区切って指定管理者を選定することとし、自然博物館ねいの里も指定管理者制度の対象施設となり、これまで4回の公募がなされた。

いずれも民間事業者等の応募はなく、建設当初の受託管理制度の時代からこれまで、当財団が一貫してこの施設の管理を行ってきた。

これまでの指定管理期間は次のとおり。

回	期 間	指定管理者
第1回	2006年4月1日～2009年3月31日	財団法人 富山県民福祉公園
第2回	2009年4月1日～2013年3月31日	財団法人 富山県民福祉公園
第3回	2013年4月1日～2018年3月31日	公益財団法人富山県民福祉公園
第4回	2018年4月1日～2023年3月31日	公益財団法人富山県民福祉公園

Ⅱ 利用状況

1 来館者数

(1) 令和元年度来館者数

月 内訳	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大人	883	1,220	845	1,115	930	859	964	888	321	549	458	600	9,632
子供	604	1,740	876	1,146	1,248	778	786	849	255	285	281	379	9,227
計	1,487	2,960	1,721	2,261	2,178	1,637	1,750	1,737	576	834	739	979	18,859

(2) 開館以来の来館者数

S56	S57	S28	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3
28,608	47,356	37,633	46,653	58,585	60,825	55,174	43,211	43,944	35,586	43,450
H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
42,298	35,524	27,602	26,770	25,873	27,598	23,581	21,260	21,523	20,007	18,449
H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
17,891	18,212	18,939	18,162	17,383	18,173	14,174	14,720	14,947	14,178	16,605
H26	H27	H28	H29	H30	R1					合計
17,801	18,994	20,583	18,484	19,374	18,859					1,088,989

2 団体来館者数

団体内訳	件数	人数
学校など（教育活動）	20件	810人
幼稚園、保育園	29件	1,937人
一般団体	19件	771人
子育て支援グループ等	180件	3,197人
合計	248件	6,715人

3 開催行事

月日	行事名	参加者(人)
4月1日～5月23日	日本鳥類保護連盟富山県支部「愛鳥写真展」	—
4月21日	五感クイズで里山散歩	48
5月5日	早朝バードウォッチング	27
5月12日	愛鳥週間・探鳥の日「バードウォッチング」	24
5月25日～6月30日	愛鳥ポスター展	—
6月22日	竹細工づくりとヘイケボタル観賞	87
6月29日	竹細工づくりとヘイケボタル観賞	27
7月3日～8月4日	自然保護協会環境写真展	—

7月28日	雑木林探検 PART 1	41
7月13日～8月23日	県内のカブト・クワガタ展	—
8月12日～8月26日	環境月間ポスター展	—
8月5日	トンボの調査と標本づくり隊	38
8月24日	水辺の生き物を観察する	43
8月22日～9月24日	秋の虫展	—
9月14日～11月24日	ねいの里キノコ写真展	—
9月21日	秋の鳴く虫観察とナイトウォーク	56
10月6日	キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ	238
11月3日	雑木林探検 PART 2	48
11月27日～3月30日	ロードキル写真展	—
12月1日	クリスマスリース作り	39
12月14日～1月19日	春の七草実物展	—
1月4日～6日	「春の七草」頒布会と正月遊び	274
2月11日	動物の体を調べジビエ料理を楽しむ	52
2月11日	シポジウム 「ツキノワグマの大量出沒について考える」	54
3月20日	ねいの里の春見つけと化粧炭工作入門	38
通年	外来生物展 PART II	—
	企画展「野生動物と生きる」	—
	企画展「釣り糸、釣り針を捨てないで」	—

4 ナチュラリスト活動

昭和56年のねいの里開園以来、県のナチュラリスト活動の主要拠点として、シーズン中の土日祝日にナチュラリストの配置を行っている。

今年度においても、4月27日（土）から11月4日（振）まで、各1名のナチュラリストを配置し、展示館とフィールドで自然解説や展示解説活動を行った。

特に、今年度は利用者をフィールドに連れ出すための仕掛けとして、「ねいの里の宝探し」の活用を進めた。

5 各種普及活動

(1) 園内での普及活動

- ① 富山県自然保護協会が主催する「ナチュラリスト・ジュニアナチュラリスト連携事業」に協力し、園内で研修会を実施した。
- ② 企画展「野生動物と生きる」を開催し、近年、特に農作物や人身に対しての被害が顕著になってきているイノシシやニホンザル、ツキノワグマなどの野生動物の生態や被害の実態について、パネルで紹介した。
- ③ 富山市内保育所の保育士の実践研修を実施し、幼児に対する生き物への接し方等の研修を行った。
- ④ 企画展「釣り糸、釣り針を捨てないで」を開催し、釣人のマナー向上を呼び掛けた。

(2) 園外での普及活動

県民への自然博物館ねいの里のPRや野生動物への理解を深めるため、次のような活動を行った。

- ① 野生動物による人身や農作物被害を防ぐための講習会の開催
- ② 地域の野生生物保護活動などに対する講師派遣
- ③ 県内各地のイベントで、ブースを設置しての普及、PR活動
- ④ 保育所の園児に対する出前講座による生き物紹介

期日	派遣先	派遣者	派遣内容
5月31日	新川みどりの高校講演	赤座	講師
6月5日	県獣医師会講演	赤座	講師
6月23日	五福公園まちなか祭りでの木工教室	満保・森	イベント講師
7月1日	砺波市庄東小学校森林教室	間宮・竹内	講師
7月3日	富山市速星幼稚園	館長	出前講座
7月12日	富山市福沢小学校クマ対策訓練	間宮	講師
7月22日	婦中熊野保育所	岡・竹内	出前講座
7月21日	環水公園出張企画展	間宮、砂田	出前講座
8月1日	富山市うさか保育園	岡・竹内	出前講座
8月2日	射水市杉の子保育園	岡・竹内	出前講座
8月9日	富山市朝日保育所	岡・竹内	出前講座
8月9日	富山南ロータリークラブ講演	赤座	講師
8月11日	青少年のための科学の祭典	間宮・竹内	出前講座
8月26日	ピノキオナースリースクール	松崎・竹内	出前講座
8月29日	富山市しんでん保育園	富永・竹内	出前講座
9月22日	常願寺公園ふれあいフェスティバル	岡・石澤	イベント講師
9月27日	砺波市東般若保育園	岡・竹内	出前講座
10月11日	富山市古里保育所	竹内	出前講座
10月15日	富山市小見小学校クマ対策の学習	間宮	講師
11月13日	富山市山田保育所	富永・竹内	出前講座
11月19日	富山市藤ノ木小学校	赤座	出前授業
11月27日	富山市フレンズプリスクール	富永・竹内	出前講座
12月5日	ニホンザル地域指導員研修会	赤座	講師
R1 1月10日	射水市金山小学校	岡・竹内	講師
1月31日	高岡砺波生物研究会	赤座	講師
2月17日	高岡農林振興センター	間宮	講師

6 実習生の受け入れ

社会に学ぶ「14歳の挑戦」

社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業で、富山市の下記の4校の中学校から計5名の生徒

を受け入れた。

近年、ねいの里で職場体験を希望する生徒が増加してきており、地元の城山中学校以外からの希望者も増えている。

期 間	学 校 名	氏 名	内 容
令和元年 7月 1日～5日	富山市立速星中学校	井出ゆきの	館内清掃、生き物管理、生態園管理、鳥獣救護、ニホンザルモニタリング調査、保育園出前講座補助
	富山市立八尾中学校	藤井 太陽	
令和元年 7月 8日～12日	富山市立城山中学校	酒井 翼	
		中山 亜美	
令和元年 10月 7日～11日	富山市立山田小学校	杉本 かや	

7 鳥獣保護センターにおける傷病鳥獣の受け入れ

昭和 59 年の鳥獣保護センター開設以来、県と連携して、搬入された野生鳥獣に関して適正な治療を施し、鳥獣の種類ごとに区画された飼育室でリハビリを行った後、放鳥・放獣を行っている。

今年度の救護実績は次のとおりで、鳥インフルエンザの発生がなかったため、年間を通して受け入れを行った。

また、傷病鳥獣として持ち込まれ、種の保存法により国内希少野生動植物種に指定されている「ハヤブサ」の野生復帰のための訓練に着手した。

(個体数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
鳥 類	7	38	23	30	16	5	14	12	4	2	5	4	160
獣 類	2	0	2	2	3	2	0	1	1	0	1	1	15
卵	0	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
計	9	46	25	33	19	7	14	13	5	2	6	5	184

8 自然に関する相談件数

年間を通して、電話等で自然に関する様々な相談を受けており、適切に対応している。

特に、今年度は傷病鳥獣についての相談が増加したが、相談の中で「ヒナを拾わないで」キャンペーンに基づき、ヒナの救護をしないように積極的に指導したことが、相談件数が増えた割には、搬入鳥類が減少したことにつながったと思われる。

	傷病鳥獣	自然全般	マスコミ問合せ	行政問合せ	その他	計
哺乳類	52	9	3	0	0	64
鳥類	373	50	1	0	0	424
その他脊椎動物	/	14	1	0	0	15
無脊椎動物		35	0	0	0	35
植物		11	2	0	0	13
菌類		30	0	0	0	30
その他		55	0	0	0	55
計	425	204	7	0	0	636

Ⅲ 県からの委託業務

1 野生鳥獣対策業務

野生鳥獣の管理に関する次の事業を実施するため、県自然保護課及び自然博物館ねいの里に野生鳥獣対策推進員と野生鳥獣共生管理員を配置した。

それぞれ実施した業務は次のとおり。

□ 野生鳥獣対策推進員

- (1) 野生鳥獣保護管理の企画・調査・研究に関する業務
- (2) 指定管理鳥獣（イノシシ、ニホンジカ）の捕獲や捕獲技術者の養成
- (2) 野生鳥獣と人との共生に関わる専門的助言・指導
- (3) 野生鳥獣の各種モニタリング調査の実施
- (4) その他、事業に関連する必要な業務

□ 野生鳥獣共生管理員

- (1) 県民に対する生物多様性保全に関する普及啓発活動及び現地調査
- (2) 動物の生息状況の確認のための自動撮影カメラの設置など、鳥獣保護区の鳥獣保護管理計画の策定に伴う普及啓発活動
- (3) その他、事業に関連する必要な業務

2 富山県ニホンザル管理計画におけるモニタリング調査業務

農業に被害を及ぼしているニホンザルの群れの分布、行動圏域を把握するためのモニタリング調査の実施、報告書の作成（行動域調査、個体群調査、群れ構成調査等）。

3 生物多様性保全推進アドバイザー事業

生物多様性保全に関する専門的な知識と豊富な経験を有する人材を、生物多様性保全アドバイザーとして自然博物館ねいの里に配置し、生物多様性の普及に関する次の業務を行った。

- (1) ねいの里におけるレッドリスト掲載種の普及啓発
- (2) 鳥獣救護に関する適切な助言・指導

- (3) ジュニアナチュラリスト等への環境教育活動における指導
- (4) その他、生物多様性の保全を効果的に推進するための助言・指導

4 自然博物館「いこいの村富山移管施設」維持管理整備事業

「いこいの村富山」から移管を受けた水辺の生態園やねいの里専用駐車場などについて、①清掃業務、②草刈り等業務、③除雪業務等を行なった。

暖冬で積雪がわずかだったため、除雪業務はほとんどなかった。

5 富山県指定管理鳥獣捕獲等業務

県内に生息している指定管理鳥獣（イノシシ、ニホンジカ）の効率的・効果的な捕獲を実施するためのモデル事業を県内5市（黒部、富山、高岡、砺波、南砺）で実施し、捕獲効果等を検証するとともに、経験の浅い狩猟者（上級15名）に対するOJT（実地研修）捕獲を実施した。

修了者には受講証明書の交付を行い、来年度からの捕獲専門チームでの取り組みが行えるようサポートした。

また、併せて指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定のための基礎資料を整理した。

IV ねいの里自然塾の会の活動

1 組織

ねいの里では、平成18年度より里山での生物多様性保全を目指した活動を行うため、『生き物ふれあい自然塾』を開校した。里山再生や水辺のビオトープづくり、貴重動植物の保護増殖事業などに実績を上げてきた。

現在は、自然塾で活動した中心メンバーが独自の活動を行うため、『ねいの里自然塾の会』が組織されている。

2 活動内容（自然塾の会独自事業のみ）

月 日	定 例 会 行 事 内 容	参加人数（人）
4月30日（祝）	春の里山大遠足	5
6月23日（日）	蓮華の森自然歩道観察会（新潟県）	8
10月22日（祝）	1日だけの森の喫茶店	11
11月17日（日）	蔓植物観察と輪っか作り	7
1月26日（日）	カンジキハイクと水鳥観察	3
3月20日（祝）	総会	10

V 広報活動

1 ホームページでの情報発信

ホームページを開設し、一般県民に対しねいの里の自然や行事について、わかりやすく情報発信を行っている。

また、リアルタイムに情報提供を行うため、自然情報ブログを導入している。

Webアドレス：<http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

自然情報ブログアドレス：<http://neinosato.blog.fc2.com/>

2 新聞、テレビ、ラジオ等への協力・出演

年	月	日	氏名	内容	依頼者	
元	5	1	間宮寿頼	企画展「野生動物と生きる」	富山新聞	
		5	間宮寿頼	早朝バードウォッチング	富山新聞	
		9	間宮寿頼	企画展・探鳥の日バードウォッチング	KNB	
		11	岡 圭一	富山短大呉羽山探鳥会	北日本新聞	
		15	赤座久明	ニホンザルの生態について	北陸中日新聞	
	6	19	間宮寿頼	企画展「野生動物と生きる」	北日本新聞	
	7	15	富永館長	BBTわくわく自然体験	BBT・北日本新聞	
		26	岡 圭一	千里児童クラブの活動	上婦負ケーブルテレビ	
	8	11	岡 圭一	トンボの調査と標本作り	北日本新聞	
	9	18	松崎 勇	いっちゃんKNB「キノコ狩りの魅力」	KNB	
		19	竹内健心	音川保育所 ねいの里探検	上婦負ケーブルテレビ	
		25	松崎 勇	アサギマダラのマーキング調査	朝日新聞	
	10	1	間宮寿頼	クマの出没について	チューリップTV	
		4	富永館長	キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ	NHK	
		17	松崎 勇	キノコ写真展	北日新聞	
	11	3	竹内健心	人物紹介(ヘビの取材)	富山新聞	
		12	間宮寿頼	クマの出没について	チューリップTV	
		13	竹内健心	山田保育所の出前講座について	上婦負ケーブルテレビ	
		14	間宮・赤座	クマの出没について	NHK	
		15	間宮・赤座	〃	NHK	
		29	赤座久明	クマから身を守るには	富山新聞	
	12	4	赤座久明	サルの被害対策について	BBT	
		4	赤座久明	クマ対策としての柿の木の伐採	チューリップTV	
		23	富永館長	春の七草実物展	上婦負ケーブルテレビ	
	2	1	4	富永館長	「春の七草」頒布会	北日本新聞・富山新聞・読売新聞・北陸中日新聞・チューリップTV
			16	赤座久明	冬眠しないクマについて	・チューリップTV
			22	富永館長	ヤマアカガエルの産卵	北日本新聞
23			富永館長	〃	BBT	
24			岡 圭一	〃	チューリップTV	
28			富永館長	〃	読売新聞	
29			富永館長	〃	上婦負ケーブルテレビ	
2	11	11	間宮寿頼	動物の体を調べジビエ料理を楽しむ クマの大量出没についてのシンポジウム	チューリップTV(上のみ) 上婦負ケーブルテレビ	
		11	間宮寿頼	クマの大量出没についてのシンポジウム	北日本新聞・富山新聞 ・北陸中日新聞・NHK	

				・BBT・KNB
	1	間宮寿頼	指定管理鳥獣研修修了式	北日本新聞・富山新聞
	4	竹内健心	きょうもにっこり(人物紹介)	北日本新聞
3	19	富永館長	ねいの里の春見つけ、ホクリクサンシ ョウウオの産卵	北日本新聞・富山新聞 上婦負ケーブルTV
	25	富永館長	ホクリクサンショウウオ取材	北日本新聞